

入札参加者 各位

7営設第1938号
令和7年10月14日

福岡県建築都市部営繕設備課長

新福岡県立美術館新築工事設計図書に関する質疑回答書

NO	図面番号	質 疑	回 答
1	A-043-6	環境性能C)施工完了後とは、「竣工引き渡し時」のことでしょうか。	展示ケース設置を含めた施工完了時です。竣工検査時には化学物質の測定結果を確認できるようにしてください。
2	A-043-6	環境性能C)測定方法は変色状況を確認すると記載されていますので、検知管法を想定されていると思いますが、アセトアルデヒドやギ酸は個別濃度を検知管では測定できませんので、測定は東京文化財研究所指定の精密法（インピンジャーやDNPHを用いた）で測定すると考えればよろしいでしょうか。	「美術館・博物館のための空気清浄化の手引き」に準じた室内空気測定の通りとします。 ①アルデヒド類（n=1） 測定物質：ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド→精密測定法 ②酸・アルカリ成分（n=1） 測定物質：アンモニア・Nox・SOx・酢酸・ギ酸→精密測定法
3	A-043-6	環境性能C)測定箇所は、収蔵庫①、前室、一時保管庫、一時保管庫前室、収蔵庫②、前室、収蔵庫③の7か所でよろしいでしょうか。	コレクション展示室①・②・③、特別展示室①・②・③、収蔵庫①・②・③、収蔵庫前室、一時保管庫、一時保管庫前室、保存修復室、環境保全対策室、生物対策室、荷解スペースの計16室・16箇所です。
4	A-003-4	24その他 ③展示室・収蔵庫内装 収蔵庫・一次保管庫・県民ギャラリーを除く展示室とは、特別展示室①～③、コレクション展示室①～③、倉庫①～⑤、小展示室A,Bの計13か所と考えればよろしいでしょうか。	倉庫①、倉庫②、については区画外の為対象外とします。他はよろしいです。
5	A-003-4	24その他 ③展示室・収蔵庫内装 各室の環境測定の環境測定とは、どのような測定を実施すればよいでしょうか。 (粉塵測定、温湿度測定、化学物質測定)いずれでしょうか。	化学物質測定とします。

NO	図面番号	質 疑	回 答
6	A-003-4	24その他 ③展示室・収蔵庫内装 内装及び建具施工後とは、空調設備の運転後と考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
7	A-003-4	24その他 ⑤特筆すべき注意事項 「化学物質の発散量を測定する。」の化学物質とはアンモニアということでよろしいでしょうか。	化学物質とは以下の通りです。なお、「美術館・博物館のための空気清浄化の手引き」に準じた室内空気測定とします。 ①アルデヒド類 (n=1) 測定物質:ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド ②酸・アルカリ成分(n=1) 測定物質:アンモニア・Nox・SOx・酢酸・ギ酸
8	A-003-4	24その他 ⑤特筆すべき注意事項 展示・収蔵エリアとは、具体的にどの部屋を指すのでしょうか。	コレクション展示室①・②・③、特別展示室①・②・③、収蔵庫①・②・③、収蔵庫前室、一時保管庫、一時保管庫前室、保存修復室、環境保全対策室、生物対策室、荷解スペースの計16室とします。
9	A-003-4	24その他 ⑤特筆すべき注意事項 展示収蔵エリアの化学物質測定で、北川式検知管を使用しても可能とありますが、SOxは検知管で測定できませんので、検知管法での測定は不可と考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
10	A-003-4	24その他 ⑤特筆すべき注意事項 施工者は、展示室、収蔵庫周りの躯体打設終了時からの継続的に化学物質の計測を行い、アンモニア等放散の傾向を分析、報告すること。と記載がありますが、アンモニアのみ測定すればよいでしょうか。 また、具体的な測定時期及び測定回数をご指示ください。	測定する化学物質は以下の通りです。なお、「美術館・博物館のための空気清浄化の手引き」に準じた室内空気測定とします。 ①アルデヒド類 (n=1) 測定物質:ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド ②酸・アルカリ成分(n=1) 測定物質:アンモニア・Nox・SOx・酢酸・ギ酸 測定日数:2日間×2回(躯体打設完了時と展示ケース設置を含めた竣工引渡し時 16箇所*2回 計32回とする。) 延べ測定日数:4日間
11	A-003-4、A-043-6	環境測定の、「施工完了後」、「内装及び建具施工後」、「仕上げ工事完了時」の具体的な時期をご指示ください。	「施工完了後」「内装及び建具施工後」、「仕上げ工事完了時」とは、すべて同一の意味であり、以下の時期に測定を行うこととします。 「展示ケースの設置を含んだ全ての内装工事が完了し、空調設備の運転後」